

会 議 録

| | | |
|--------|---|------------|
| 会 議 名 | 第 4 回宇都宮市地域新エネルギービジョン専門委員会 | |
| 開催日時 | 平成 1 4 年 2 月 1 9 日 午前 1 0 時 3 0 分 ~ 1 2 時 | |
| 開催場所 | 宇都宮市役所 1 4 A 会議室 | |
| 出席者 | <p>【委 員】秋山委員長，永尾副委員長，小幡委員，吉原委員，鷹箸委員，船田委員，葎葉委員，会沢委員（代理出席 野沢課長補佐），笹本委員（代理出席 前田氏）</p> <p>【オブザーバー】淵上氏</p> <p>【事務局】榎淵宇都宮市環境部長，ほか 9 名</p> | |
| 公開・非公開 | 公開 | |
| 傍聴者 | 2 人 | |
| 議 題 | 1 宇都宮市地域新エネルギービジョン（案）について | |
| 会議結果 | 議題 1 | 原案のとおりとする。 |

| 発言要旨【議題 1 関係】 | |
|---------------|---|
| 永尾委員 | ・この要約は，これ単独で配布するために作成したものなのか。 |
| 事務局 | ・これは，今回の委員会説明用に作成したもので，概要版は別に作成します。 |
| 吉原委員 | ・確認だが，モデルスタディの効果の算出で太陽光の二酸化炭素削減量算出に「最大効果を試算する意味で石油火力発電基準の値を用いた。」とあるのは，原子力，水力，LNG 火力，石油火力発電などがミックスされた現実の発電の値を用いる場合もあり，いずれを用いるかは国レベルにおいてもコンセンサスが得られていないことを認識した上でここではあえて石油火力発電基準の値を用いたという意味だと思いが確認したい。 |
| 事務局 | ・そのとおりです。 |
| 葎葉委員 | ・これから作成する概要版は，一般の人に分かり易いもので，なおかつみんなで取り組んでいこうとなるようなものにしていただきたい。 |
| 秋山委員長 | ・概要版では，行政と市民・事業者の方が協力しながら取り組んでいくとの方向で表現を工夫してみてもいい。 |
| 小幡委員 | ・メガ，ギガとかジュールなど単位が一般の人には分かり難いので，分かり易くしたほうがよい。 |
| 秋山委員長 | ・分かりやすい換算表などを入れるようにしましょう。 |

| 発言要旨【議題 1 関係】 | |
|---------------|---|
| 船田委員 | ・中小企業に対して普及を図ることにに関してであるが、商工会議所には、エネルギーについての特別委員会は無い。これからは、行政と協力して取り組んで行ければ良いと思う。 |
| 事務局 | ・今後、制度的なものも含め、色々検討して行きますのでよろしくお願ひします。 |
| 葭葉委員 | ・普及策のひとつとして、各家庭での太陽光、熱などの具体的な導入事例を紹介する制度を作ってはどうか。 |
| 吉原委員 | ・グリーン電力基金が現在電力会社で行われている。新エネルギー導入支援の制度検討の参考になると思う。 |
| 前田委員 | ・新エネルギーに「バイオマス」、「雪氷熱利用」が1月22日に追加とあるが、これは閣議決定の日であるので、公布施行された25日とすべきである。 |
| 鷹箸委員 | ・宇都宮では、原子力への依存度が高いはずなので、原子力の立地が進まない現在、原子力依存を減じるためにも新エネルギーへの動きを早めていくことが大切であり、報告書には記載しないまでもその辺の認識を広めていくことが必要だと思う。 |
| 吉原委員 | ・国の政策では、原子力を否定しているわけではないので、必ずしも立地が進まないわけではない。 |
| 秋山委員長 | ・県の原発依存度は70%程度との数値が出ており、宇都宮市についてもそうかもしれないが、データがないのでこのビジョンに関しては取り扱うことはできない。 |
| 野沢課長補佐 | ・市が実施する新エネルギーに関する事業はもっとPRした方がよい。新エネルギーの普及には、一般へのPRが必要である。 |
| 永尾委員 | ・付属資料、技術動向の風力発電の部分で離島における風力発電技術の開発は2003年度までとなっているが2002年度が正しい。 |
| 事務局 | ・訂正します。 |
| 前田委員 | ・「新エネルギー事業の方向」の中で、すぐにでも始められるものがあるが、それが中期になっているのはなぜか。 |
| 事務局 | ・はじめから全部を始めるのではなく、ある程度準備期間が必要なものもあるため、そのようなものは中期から行うとしております。 |
| 淵上 オブザーバー | ・新エネルギーの普及のために、市民団体や住民の方々と情報交換、協働の推進体制についてはどのように考えているのか。 |
| 事務局 | ・確かに効果的な方法であるが、まずは市内での推進体制を構築し、PR等で新エネルギーへの関心を高めてから、ふさわしい時期に検討いたします。 |

| 発言要旨【議題1関係】 | |
|--------------|--|
| 葭葉委員 | ・新エネルギー機器を設置しようとしたときに色々聞けるような相談窓口を設けるとよいと思う。 |
| 船田委員 | ・太陽光を導入した場合の効果をPRする啓発的なことができると思う。また、クリーンエネルギー自動車に関しては、PR効果も高いので、もっと導入台数を増やしてはどうか。 |
| 事務局 | ・現在は、電気自動車を2台、ハイブリッド車を9台導入している。車両の更新計画等にあわせて導入していくが、できるだけ導入していきたい。 |
| 秋山委員長 | ・NEDOの方から、新エネルギーの導入にあたってのNEDOでの取り組みなどその他お話願えないでしょうか。 |
| 渚上 オブザーバー | ・NEDOではビジョンの次には、具体的な導入段階での、新エネルギーのFSについても補助がある。また、最近では「地域地球温暖化防止支援事業」という地方公共団体、地域団体、事業者も対象となる補助事業が創設された。これは、複数の新エネルギー導入が対象となる。 |
| 秋山委員長 | ・他にご意見がないようですので、この報告書案を基に最終報告書と致します。今後実際に事業実施の際には皆様にまたご協力を頂くこともあろうと思いますが、その時は宜しくお願い致します。 |